

正校

上田文齋著
小學人體問答

全

函架
二
四三六一号

共二本

K110
41

50x

B 18

2|3|6|6



上田文齋著

校正
小學人體問答

大坂 威書堂發兌

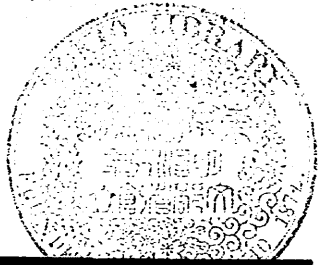
小學人體問答

凡例

一 此書ハ人體名義ヲシテ小學生徒ニ記憶ナサシメンカ為メニ假ニ問答ヲ設ケ其大略ヲ編輯スル者ナリ

一 ○ハ問ノ標ナリ □ハ答ノ標ナリ

一 圖式ハ木版ヲ用ユルヲ以テ原圖銅版ノ如ク織細精密ヲ盡ス丁韃ハス唯タ人身形器ノ位



小



明治九年圖書發行

一 此書名義ヲシテ小學生徒ニ記憶ナサシメンカ為メニ假ニ問答ヲ設ケ其大略ヲ編輯スル者ナリ

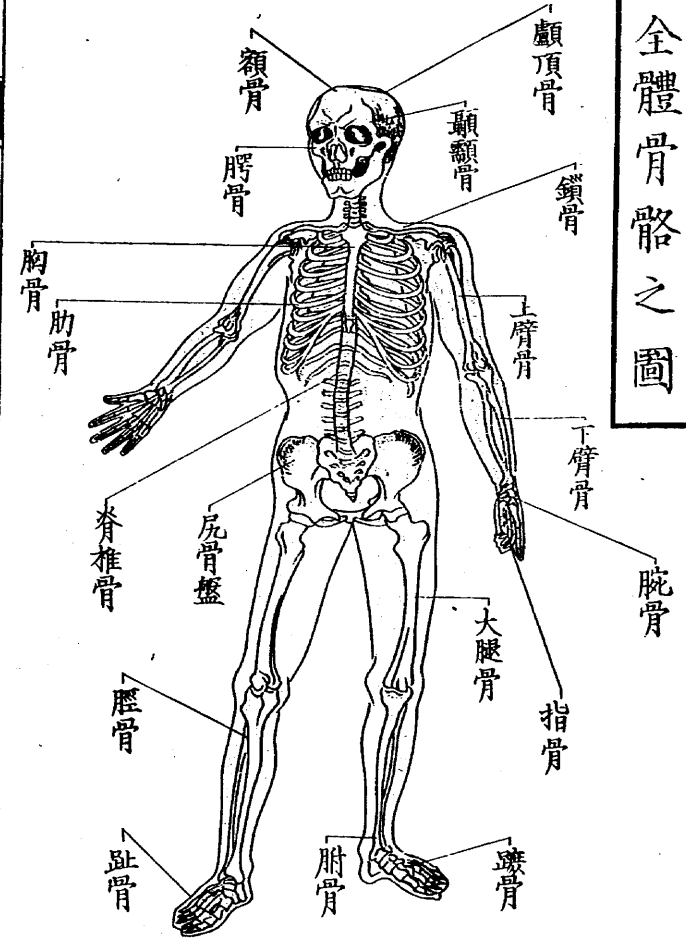
一 ○ハ問ノ標ナリ □ハ答ノ標ナリ

一 圖式ハ木版ヲ用ユルヲ以テ原圖銅版ノ如ク纖細精密ヲ盡ス丁紙ハス唯タ人身形器ノ位

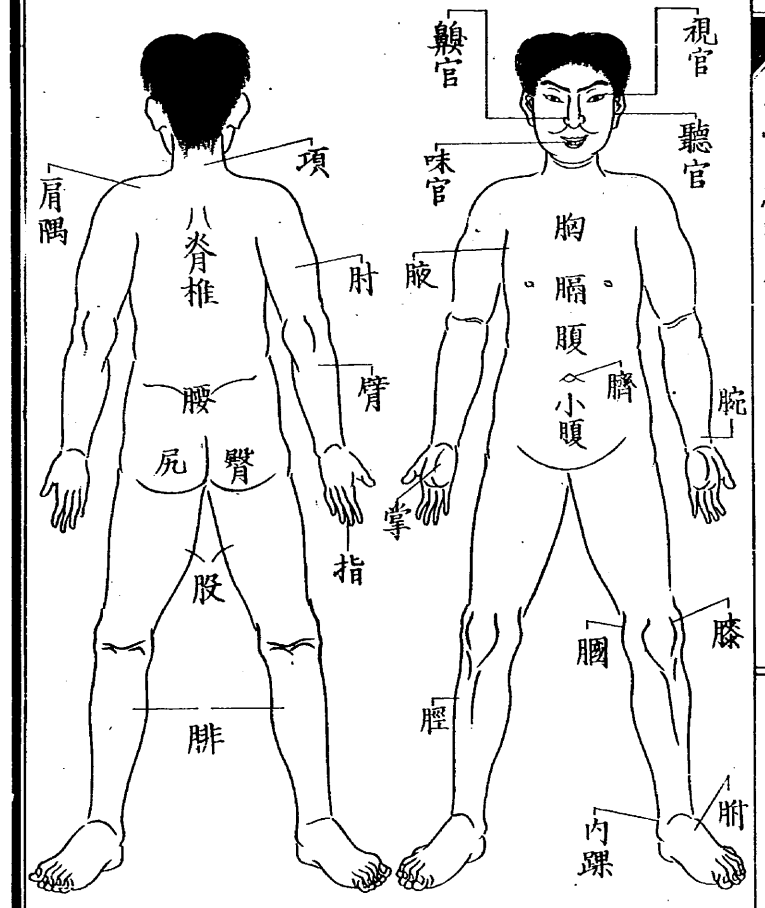
置卜動脈循環ノ景況ヲ概察セシムル而已
于時明治八年十一月

上田文齋誌

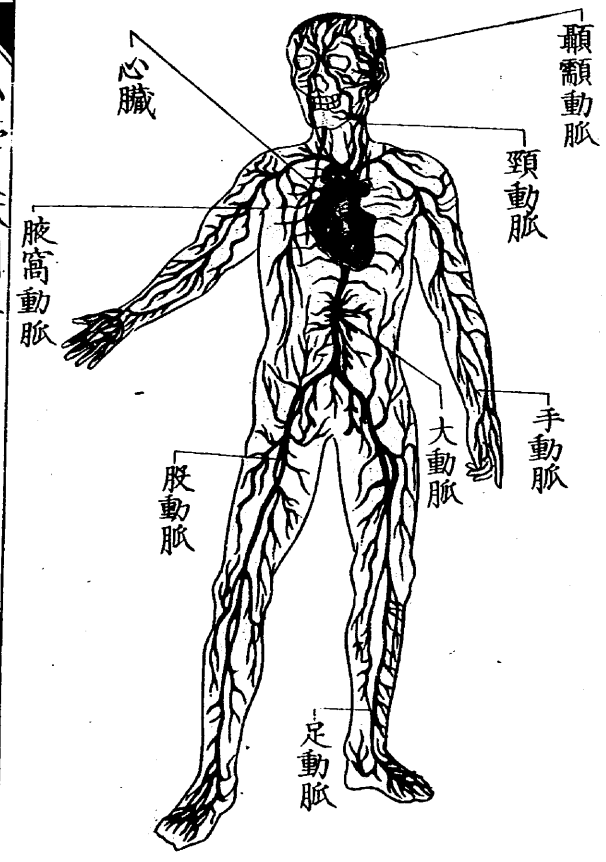
全體骨骼之圖



全體背面之圖



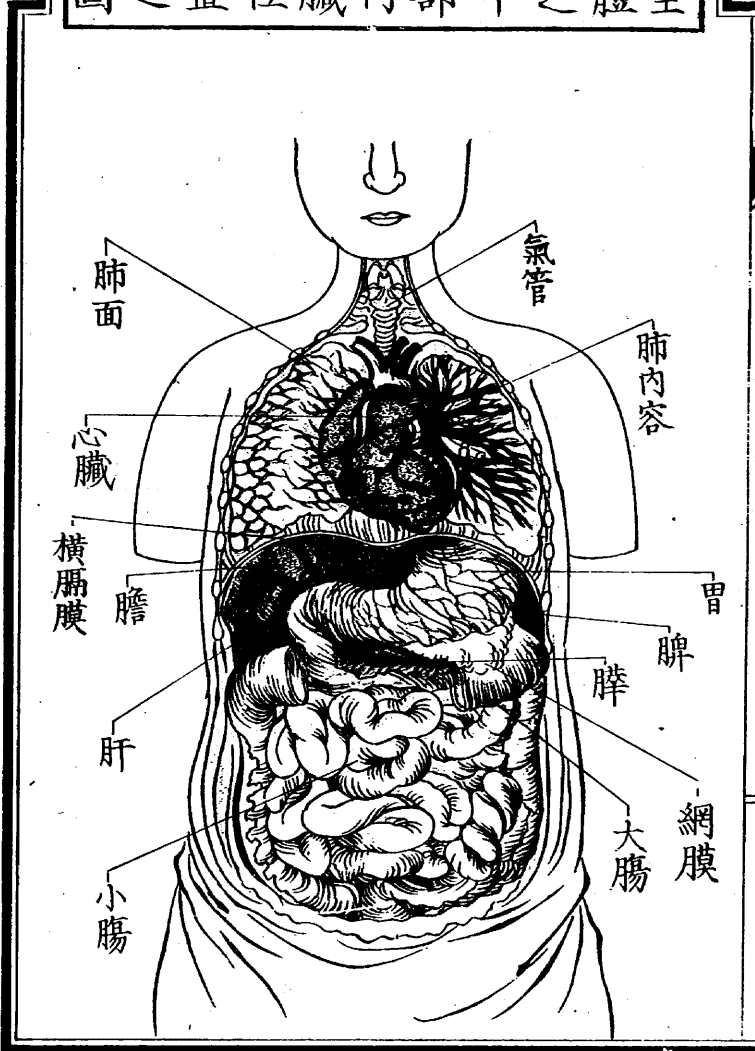
動脈循環之圖



小學人體圖

二

全體中之內部臟器之位置圖



小學人體問答

三

正校

小學人體問答

第一章

上田文齋 輯錄

○ 人ハ地球ニ於テハ如何ナル物歟ナルヤ
ヒト チキウジヤウ オイ

□ 地球上動物中ノ靈長ニシテ直立歩行スル
チキウシヤウドウブツ オウ レイチヤウ シチカチ

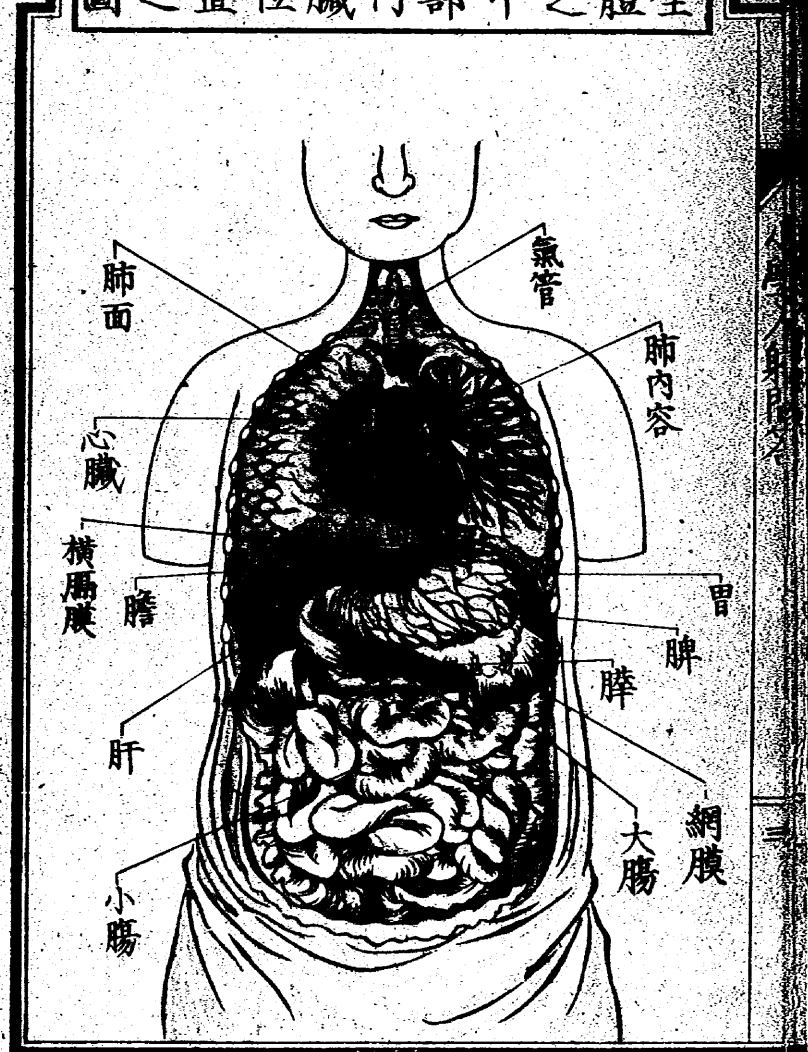
モノナリ

○ 人歟ハ幾部ニ大區別シテ云可キヤ
ジンタイ イクブ ダイクベツ オホワケ

□ 分テ三部トス
ワケ サンブ

ハ早ノ本月

全體中之內部臟位置之圖



小學人體問答

第一章

上田文齋 輯錄

○ 人ハ地球^{チキウジヤウ}上ニ於テハ如何ナル物^{モノ}歟ナルヤ

□ 地球^{チキウジヤウ}上動物^{ドウブツ}中ノ靈^{レイ}長^{チヤウ}ニシテ直立^{チヨクリツ}歩行^{ホカウ}スルモノナリ

○ 人^{ジン}身^{シン}ハ幾部^{イクブ}ニ大區^{ダイク}別^{ベツ}シテ云^{イハ}可^ベキヤ

□ 分^{ワケ}テ三部^{サンブ}トス



○三部トハ何レヲサシテ云フ可キヤ

□上部シヤウブ 中部チュウブ 下部ゲブ

○上部トハ何レノ部分ヲサシテ云フ可キヤ

□胸ヨリ上ノ部分ヲサシテ云フ

○中部トハ何レノ部分ヲ云フ可キヤ

□胸ヨリ以下臍ニ至ル部分ヲサシテ云フ

○下部トハ何レノ部分ヲ云フ可キヤ

□臍ノ部分ヨリ以下ヲサシテ云フナリ

○人ノ五官トハ何レノ部ヲ云フ可キヤ

□視官シクワン 聽官テイワン 味官ミクワン 嗅官シウワン 觸官シヨクワン 是ナリ

○視官トハ何ノ作用ヲ主ルヤ

□眼ナリ眼ハ物色形像長短大小動靜速近等

ヲ見ルコトヲ主ドル故ニ視官ト云フ

○聽官トハ何ノ作用ヲ主ルヤ

□耳ナリ耳ハ聲音物響ヲ聞クコトヲ主ドル故

ニ聽官ト云フ

○味官トハ何ノ作用ヲ主トルヤ

□口舌ナリ口舌ハ飲食ノ五味ヲ味ヒ知ル

ヲ主トル故ニ味官ト云フ

○鼻官トハ何ノ作用ヲ主トルヤ

□鼻ナリ鼻ハ物ノ香臭ヲ辨グコトヲ主トル故

ニ鼻官ト云フ

○觸官トハ何ノ作用ヲ主トルヤ

□全身ノ皮膚ヲ云皮膚ハ物ニ感觸シテ寒熱

痛痒ヲ知覺スル故ニ觸官ト云フナリ

第二章

○全身ニ於テ九竅トハ何ノ處ヲサシテ云フヤ

□眼ニ個 耳ニ個 鼻ニ個 口ニ個 前陰ニ個 後陰ニ個

等ヲ合シテ九竅ト云フナリ

○眼ノ正中ニ在ルモノヲ何ト云フヤ

□瞳子ト云フナリ

○瞳子ノ外周ヲ圍繞スルモノヲ何ト云フヤ

○虹彩コウサイト云フナリ

○虹彩コウサイノ周圍シウキノ白キ所トコロハ何ト云フヤ

□白膜ハクマクト云フナリ

○眼ヲ泡護ハツゴスルモノハ何ト云フヤ

□眼メト云ヒ又眼胞ガンボウト云フナリ

○臉オモテニ在ル毛ケハ何ト云フヤ

□臉毛オモテモウト云フナリ

○兩眼リョウガンノ上部ジヤウブニ在ル毛ケハ何ト云フヤ

□眉毛メイマウト云フナリ

○眉毛メイマウノ生ズル所トコロノ骨ホネハ何ト云フヤ

□眉稜骨メイリョウコツト云フナリ

○眉稜骨メイリョウコツノ上部ジヤウブノ骨ホネハ何ト云フヤ

□額骨ガクコツト云ヒ又前頭骨ゼントウコツト云フナリ

○額骨ガクコツノ左右サイウノ部分ブブンヲ何ト云フヤ

□顛顛部テンテンブト云フナリ

○額骨ガクコツノ正中上部セイチュウジヤウブハ何ト云フヤ

○ 顛門シモント云フ此内ニハ腦ノ前葉ヲ納ム

○ 顛門ノ上ヘ頭ノ正中ヲ何ト云フヤ

□ 顛頂骨部ニシテ腦ノ中葉ヲ納ム

○ 後口頭ハ何ト云フヤ

□ 後頭骨部ト云フ腦ノ後葉ヲ納ム

○ 後頭骨ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 頂窩ト云フナリ

○ 腦ハ如何ナル作用ヲ成スヤ

□ 腦ハ靈液ヲ製造シテ神經ヲ養フ處ナリ

○ 口ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 頷ト云フナリ

○ 頷ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 咽喉部ト云フナリ

咽ハ後方ニ在リテ食物ヲ通ズル管ヲ云

喉ハ前方ニ在リテ呼吸氣ヲ通ズル管ナリ

○ 咽喉ノ兩傍ハ何ト云フヤ

□ 頸ト云フナリ

○ 頸ノ下部左右ハ何ト云フヤ

□ 頰ト云フナリ

第三章

○ 人躰ノ中チ最モ大ナル部ヲ何ト云フヤ

□ 胴ト云ヒ又軀體ト云フナリ

○ 胸ハ何臟ノ部ト云フヤ

□ 肺臟部ト云フ
正中ノ下部ヲ心臟部ト云フ

ナリ

○ 神經トハ何ノ作用ヲ成スヤ

□ 五官作用ノ起源ニシテ精神コトナリ

○ 顔面トハ何レヲサシテ云フヤ

□ 頭ノ前面ヲ云フナリ

○ 鼻ノ兩傍ヲ何ト云フヤ

□ 腭骨部ト云フナリ

○ 腭骨ノ下部ヲ何ト云フヤ

□ 頬ホウト云フナリ

○ 口クチヲ圍キゼウ繞トリマクスルトコロヲ何ナニト云フヤ

□ 唇シブト云フナリ

○ 唇シブノ周シウ圍キニ在アル毛ケハ何ナニト云フヤ

□ 髮シト云フナリ

○ 齒シハ何ナニノ作用サヨウヲ主ツカサトルヤ

□ 齒シハ食物シヨクモノヲ阻ソシヤク礙カミスルコトヲ主ツカサトルナリ

○ 齒シノ列ツラナル肉ニクハ何ナニト云フヤ

□ 齒シ齧キト云フナリ

○ 胸ムネノ左サ右ミダハ何ナニト云フヤ

□ 胸ムネ肋カクト云フナリ

○ 胸ムネノ下カ部ブヲ何ナニト云フヤ

□ 横ワウ膈カク部ブト云フナリ

○ 横ワウ膈カクノ下シ部ブヲ何ナニト云フヤ

□ 胃イ臟ゾウ部ブト云フナリ

○ 胃イ臟ゾウ部ブノ右ウ部ブハ何ナニト云フヤ

○肝臟部ト云フナリ

○胃臟部ノ左部ハ何ト云フヤ

□脾臟部ト云フナリ

○胃臟部ノ下邊ハ何ト云フヤ

□腹ト云フ又大腸部ト云フナリ

○臍ハ何ノ用ヲ成スモノナルヤ

□臍ハ母ノ腹内ニ在リシ時臍帶ヨリ養レタル斑痕ナリ

○臍ノ下部ハ何ト云フヤ

□小腹ト云ブ又膀胱部ト云

女ニ在テハ又子宮ヲ藏ス

○臍ノ左右ハ何ト云フヤ

□腸腹ト云フナリ

○胸ノ後ロヲ何ト云フヤ

□背部ト云脊柱骨部ト云フナリ

○脊柱骨ハ何ノ作用ヲナスヤ

□ 上カミハ頭トウ骨コツヲ受ウケケ下シモハ腰ヨウ骨コツニ連レン接セツシ人ジン體テイノ

運動ウツドウヲ自由ジユウニナス骨ホネナリ

○ 脊セ柱ボ骨ネノ下シ部タ臍ホツノ後ウシ口コニ當タルトコロヲ何ナニト

云イハフヤ

□ 腎ジン臟クワ部ブト云イハフナリ

○ 腎ジン臟クワハ何ナニノ作ハタ用ラクヲナスモノナルヤ

□ 腎ジン臟クワハ小セウ便ベンノ出デル根コン源ゲンナリ

○ 腎ジン臟クワ部ブノ下シ邊モハ何ナニト云イハフヤ

□ 腰ヨウト云イハフ又マタ薦セン骨コツ部ブト云イハフナリ

○ 薦セン骨コツノ下カ邊ベンハ何ナニト云イハフヤ

□ 腎テン尻カウト云イハフナリ

第四章

○ 四シ肢ジトハ何ナニレノ所トコロヲ云イハフヤ

□ 手テ右ミナミ左セキ足ソク右ミナミ左セキ等トウヲサシテ云イハフナリ

○ 上シヤウ肢ジトハ何ナニノ所トコロヲ云イハフヤ

□ 兩リヤウ手シュヲサシテ云イハフナリ

○手ハ何レノ所ニ連接スルヤ

□肩隅ニ連接スルナリ

○肩隅ノ次ヲ何ト云フヤ

□膊ト云フナリ

○膊ノ内方凹陥ノ所ヲ何ト云フヤ

□腋窩ト云フナリ

○膊ノ次ギヲ何ト云フヤ

□肘ト云フナリ

○肘トハ何レノ部ヲサシテ云フヤ

□肘トハ膊ト臂トノ間ヲ云フナリ

○肘ノ次ギヲ何ト云フヤ

□内方曲凹スル所ヲ尺沢ト云フ其外方ハ臂

ト云フナリ

○臂ノ次ギヲ何ト云フヤ

□手腕ト云フナリ

○手腕ノ次ギヲ何ト云フヤ

□ 手掌テノヒラト云フナリ

○ 手掌テノヒラノ次ツギヲ何ト云フヤ

□ 指シト云フナリ

○ 指シノ先サキニ在アルモノヲ何ト云フヤ

□ 爪ツメト云フナリ

○ 指シノ内ウチニ於オイテ太フトク短ミジカキモノヲ何ト云フヤ

□ 大タイ指シ又ボ指シト云フナリ

○ 其次ツギノ指シハ何ト云フヤ

□ 食シヨクシ指シ又マ示ジ指シト云フナリ

○ 指シノウチ最モトモ長ナカキ指シヲ何ト云フヤ

□ 中チウウシ指シト云フナリ

○ 其次ツギノ指シハ何ト云フヤ

□ 無ム名ナイ指シト云又カ環ワ指シト云フナリ

○ 其次ツギノ最モトモ小チイサク短ミジカキ指シヲ何ト云フヤ

□ 小セウシ指シト云フナリ

○ 指シノ聚シウア握クシタルカタチ状カタチハ何ト云フヤ

○ 握拳ト云フナリ

○ 手ハ何ノ作用ヲナスヤ

○ 物ヲ握持スルコトヲ主ドルナリ

○ 下肢トハ何レノ所ヲサシテ云フヤ

○ 兩足ヲ云フナリ

○ 足ハ何レノ所ヨリ連接スルヤ

○ 足ハ腰骨ヨリ連接スルナリ

○ 腰ヨリ以下膝迄ヲ何ト云フヤ

○ 股ト云フナリ

○ 膝頭ノ後ヲ何ト云フヤ

○ 脛ト云又委中ト云フナリ

○ 膝ノ次ギハ何ト云フヤ

○ 前方ヲ經ト云後方ヲ腓ト云フナリ

○ 脛ノ下モヲ何ト云フヤ

○ 跗ト云フナリ

○ 跗前左右へ突出シタル骨ヲ何ト云フヤ

□ 踝骨ト云フナリ

○ 踝骨ノ下ヲ何ト云フヤ

□ 踵ト云フナリ

○ 踵ノ前方ヲ何ト云フヤ

□ 蹠ト云フナリ

○ 蹠ノ中央凹ナル所ヲ何ト云フヤ

□ 足心ト云又湧泉ト云フナリ

○ 蹠ノ前方ノ指ヲ何ト云フヤ

□ 趾ト云フナリ

○ 足ハ何ノ用ヲナスヤ

□ 路ヲ歩ミ又物ヲ踏ムコトヲ主トスルナリ

第五章

○ 人躰ノ中最要ニ扱フ可キ部分ハ何部ヲサシ

テ云フヤ

□ 两眼 鼻下 結喉 胸部 兩脇 舉丸

動脈 等ノ部分ハ常ニ謹慎シテ損傷スル

「勿ル可シ

○動脈トハ何レノ所ニ在ルヤ

□ 顚顚 耳前 兩頰 頷下 腋窩 脇下 腕前 手脈 兩股

前腰 跗前 足脈

右ノ部分ハ動脈外皮ニ搏動シテ最モ大動脈ナリ

小學人體問答終

市田治郎兵衛刺

明治八年第十月廿日御届
同 第十二月 出版

著者 上田文齋

出版人 前川善兵衛

同町 支家 平民 前川宗七

大塚第一區千石區南久堂寺町四丁目住平民

大塚第三區千石區新町通四丁目住平民

校正

上田文齋著

小學人體問答

二篇

全

函原
五二六
字
四三

共三本